

# 第8回日本語スピーチコンテスト優勝副賞 シリコンバレーインターン レポート

9/28-10/3

下尾 陽子



今回の訪米は積極的にコミュニケーションを取ることを通して、女性的な視点からシリコンバレーの文化とそこで働く人の考え方を知ることを目標とした。

シリコンバレーの企業は、仕事と子育てを両立できる環境を整備していることが分かった。実際にそこで働く女性からも「働きやすい」という声を多く聞いた。またアイデアをアウトプットすることに寛容で積極的な人にあふれていた。

本インターンシップは、多くの人との出会いに恵まれたものであり、私の見解を広げる有意義なものとなった。



# 1週間の活動報告

## DAY1：Dreamforceイベントに参加

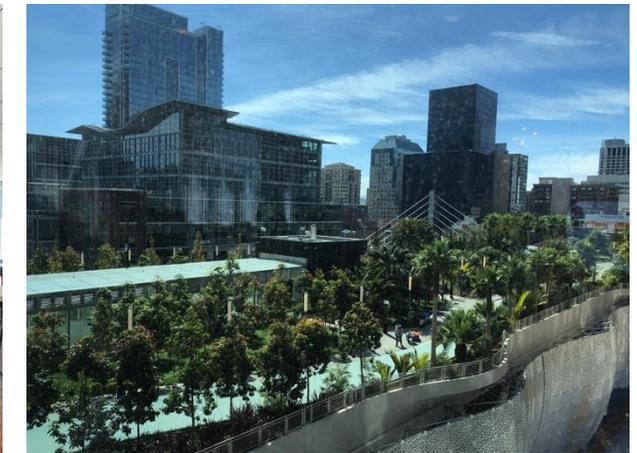
Salesforce 社が年に1度行っている多機能な製品をより効果的に使ってもらうためのイベントで、規模の大きさと会場の熱気に圧倒された。Salesforceの製品を使ったスタートアップ企業のブースも数多くあり、日系企業は数社で、インド系の企業が大多数だった。私はこのイベントで、どこか1社に事業内容を尋ねることを目標にした。イベントの雰囲気にもまれ、自分の英語力で聞いてもいいのかな、など不安に思いながらもトライした。企業側も製品の売り込みに必死で、例題を出しながら説明するなど、初めての人も事業内容がわかるような工夫がしてあった。企業側の熱意から自分も懸命に聞きにいらしたので、質問する前の自分の語彙力の心配などは忘れてしまっていた。



滑り台、ゲーム、バンドの生演奏などイベントを楽しめるような工夫がたくさんあった。

## Salesforce本社を見学

サンフランシスコ市内で一番高く目立っている建物内にある、Salesforce本社に訪問した。アメリカらしくないゆるかわのキャラクターがかわいかった。社員さんのデスクは固定ではなく、荷物をロッカーに入れたらパソコン一つもって自由に仕事ができる形式であるようだった。清潔感あふれる広々としたラウンジでは、無料の軽食が用意してあった。軽食などは企業側から支給されることが普通であることを知った。



(左上) 1フロアにて。Salesforceのかなえさんと一日案内くださったICCふみえさん(左下、右上)salesforceラウンジ(右下)オフィス周り

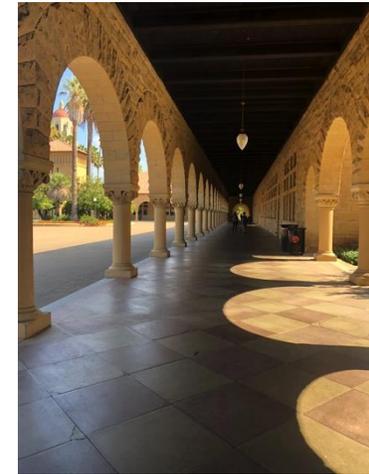
## DAY2 : IT企業観光

## スタンフォード大学

Oracle, Google, Facebookなどの世界トップIT企業とStanford大学の観光をした。

Google, FBは観光客でにぎわっていた。自転車や看板などの写真は撮ることが許可されているが、情報保護の理由から建物の写真などをとることは禁止されていた。（窓の振動から会議を傍聴できるらしい）普段使っている情報技術がここで生み出されているのか、となんとなく感動した。

会社に一人一台で通勤するため、周辺地域は毎朝渋滞に悩まされていること、急成長したあまり駐車場がないなど交通状況も問題視されていることを聞いた。



企業観光をGWAメンバーと回った。GWAの方々は、自分の仕事や海外での仕事を楽しんでいるように見えた。

また、GWAの集まりを介して信頼関係を築いたり、業界や海外に関する情報交換や仕事の幅を広げている様子を伺えた。

仕事はこういったところからも広がっていくもので、人と人の繋がりが大切であることに気付いた。私も魅力ある人になりたいと思った。

スタンフォード大学内の教会。ステンドグラスなどがとっても綺麗だった。

FB



頻度高く模様が変わるFB前の看板



FB内を移動用のFBカラー（青色）の自転車。色合いが好き。



Google内移動用のGoogleカラーの自転車

Google



## DAY 3 大谷由里子さんのトークイベント 「私のグローバルな夢」スピーチ



左からキャロリンさん、大谷さん、  
下尾

(熊本勢の皆さんと) 左から蔵原さん、  
石崎さん、大谷さん、私、重光さん

De Anza Collegeで大谷さんのチャリティートークイベントがあり、日本語スピーチコンテストのシリコンバレー代表のキャロリンさんと日本代表の私もスピーチを行った。150人ほどの観客の前に立つことは初めてだったので、とても緊張した。私達の前に重光さんからGWAについての紹介スピーチもあったのだが、そのスピーチの上手さに驚いた。口角を上げて声のトーン高くはつきり喋る、など実際に見ることで多くのことを学べた。

大谷さんの「元気を届ける」トークショーでは、話の饒舌さに魅了された。笑いが絶えず、講演が終わった頃には不思議と元気になっていた。

## DAY4 俺ン家ラーメンでの勤務

Redwood市にある俺ン家ラーメン、1日中「いらっしゃいませ」と大きな掛け声でお客さんを迎え入れ働いた。お客さんが比較的少ない月曜であったが、昼も夜も席が3回転程度する大盛況であった。

料理代以外にサービス料が存在し、サービス料は料理代の8%、15%、20%など三段階に分かれていて、お客さんが選ぶ形式になっていることを知った。時給や月給よりもチップの方が多いようで、ウェイトレスもより良いサービスを提供するように励むサイクルができていることを体感した。私も日本で飲食店アルバイトやっているが、お店の忙しさや個々人の配慮や工夫などに関わらず時給が一定であることに不満を感じていたので、このシステムをうらやましく感じた。



(左)俺ン家ラーメン、かなりこってりしたとんこつラーメンも海外の人にウケがいいことに驚いた(右上)店内(右下)日本酒などのメニュー

## DAY 5 : Adobe訪問、社員インタビュー

日本人社員のかよこさん、ようこさんにAdobe本社内を案内してもらった。社員さんはインド系の割合が高いように感じた。建物内には見る限り、カフェテリアが3つ、バスケットコートなどの施設があり、広さと施設の充実さに驚いた。ようこさんのプロジェクトチームメンバーが出場している卓球大会を応援しながら昼食をとった。チームの仲の良さと、皆で応援するということがチーム仲をより深める手助けになっていることに気づいた。多国籍の人達と仕事をする際も、仲を深める手助けとなるものは共通していると思った。むしろ、異なる背景を持つ人同士だからこそ、こういったイベントが大事だと思った。

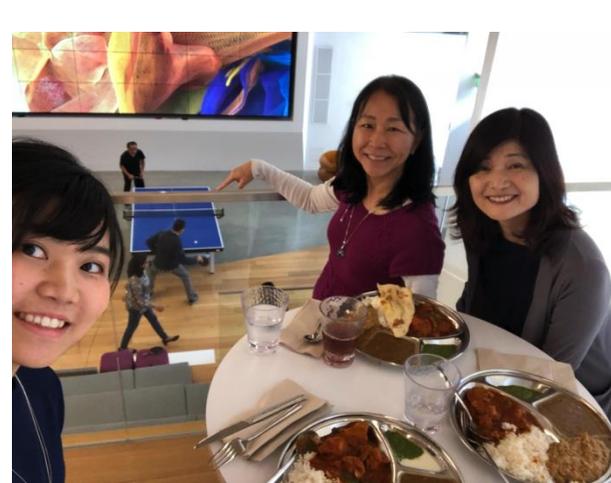
多国籍の環境でお仕事をされているお2人から、インド人、中国人はアイデアを形にするのがとても早い、という話が面白かった。インド人の特徴は、常に喋っていることだそう。仕事の早さとおしゃべりは何か関係があるかもしれないと思った。また「Adobeは仕事がしやすいよね」という言葉も印象に残った。社員の方が自由かつストイックに働かれている姿を見て、私もぜひここで働きたいと思った。

エンジニアマネージャーのリリーさんに英語インタビューを行った。

多国籍のチームメンバーと仕事をする上で大事なものは、お互いのことをよく知ることだそう。国柄の知識やAdobeが行うリーダーシップセミナーなど手助けになるらしい。また個人を知るだけでなく、家族を含めて知ると距離が近づきやすくなるそうだ。リリーさんのチームは、会社が行う社員旅行とは別に家族を連れての旅行を企画しているそうだ。

Adobeはリモートワークやフレキシブルタイム、育休期間の充実など女性が働きやすい環境整備に力を入れていることが分かった。

最後に自分の夢の話もでき、「好きなことをとことん求めなさい」という穏やかな口調と優しい雰囲気からの的確なアドバイスに仕上げられた。



# 気づき①-1：女性も働きやすい仕事環境

特徴

## ①フレキシブルタイム

- ・会社に在席していなければいけない というルールがない
- ・そもそも 職場に不在=さぼり という認識がない
- ・定時がない

## ②リモートワーク

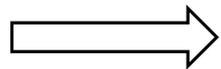
例) 週に2日のみミーティングの為出勤 (Adobe)

- 出勤時間の削減
- 出勤するストレスがない

## ③昼食や軽食の心配がない

軽食や飲み物は企業側やテナント側が用意するもの、という認識が一般的

- 仕事用に食事を用意する手間がかからない
- 子育てなど他のことに時間をさける



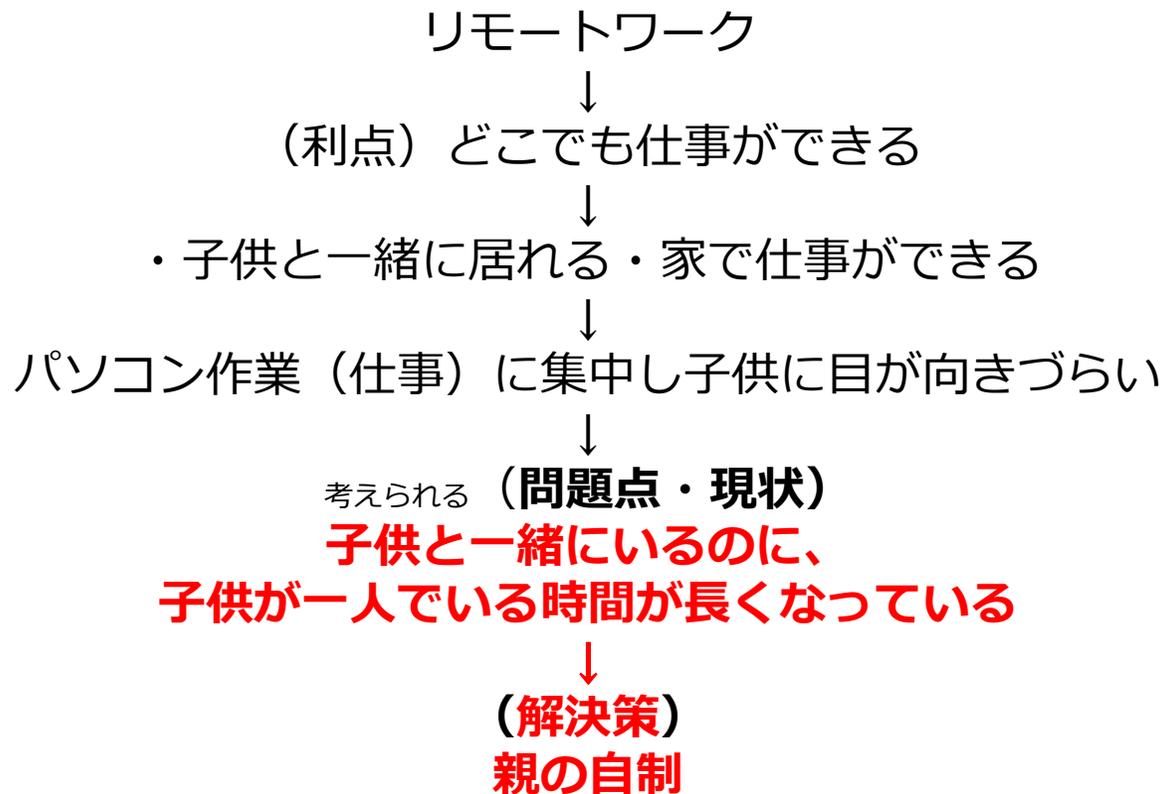
子供の予定に合わせた予定を組むことが出来る

SFOで働く女性が共通して言っていた言葉 「働きやすい」  
注意散乱せず仕事ができる



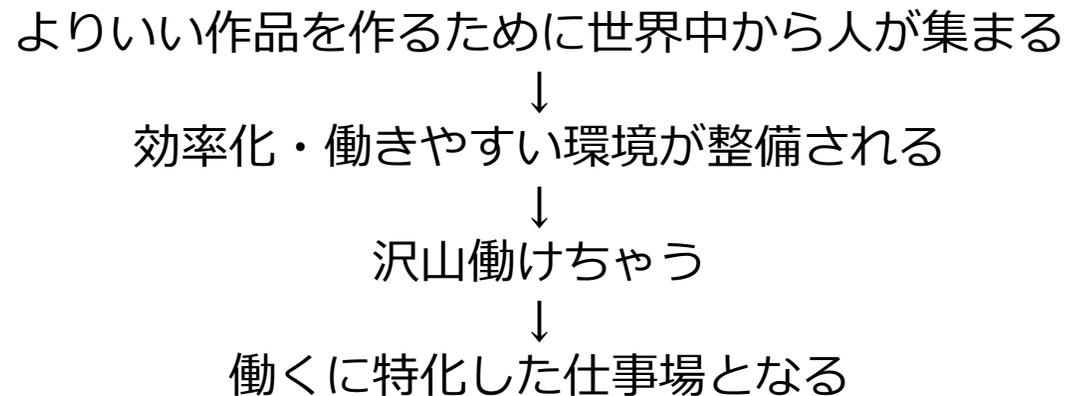
## 気付き

### ①-2子供をもつ女性も働きやすい環境



○どこまで自分でするのか、優先順位を決める  
(1位: 子供との時間→掃除などの家事は外注)

### ②働きが環境を作り、環境が働きを作る



### ①②⇒今後の生活に取り入れたいこと

- ・いつでも取り組みたくなるような自分の好きなことを仕事にできるように将来設計を試みる
- ・優先順位を決め、優先が高いものを軸に動く
- ・しないことを決める
- ・今の環境 (研究室) で作業を滞らせているものがないか検討する
- ・研究室 (仕事) 環境の整備に投資を惜しまない

# ホームステイ先ご紹介

カリフォルニア州サンノゼ市にあるMacKeyご夫婦のご家庭で1週間ホームステイした。優しい親御さんのおかげで、笑い溢れる充実した毎日を過ごせた。



## Neflex訪問

ご夫婦のお友達でNeflexで働かれている真紀さんとお会いし、社内を案内してもらった。部屋の名前に有名な映画のタイトルがつけられていたり、ある会議室は円状に座って討論ができるようになっていたり、等の施設の工夫が興味深かった。



写真は  
ハイキング  
街で評判のメキシコ料理を食べに行った時  
ハロウィンを祝うかぼちゃ祭りに遊びに行った時  
ホストママのGwynneと作ったパンプキンマフィン  
サンノゼ美術館  
オーガニックにこだわった普段の（朝、夜の）食事  
愛犬のLilly  
モスビーチ  
ゴールデンゲートブリッジ 等 とっても楽しかった！



## 謝辞

本シリコンバレーインターンシップにあたり、費用を助成して頂きました一般社団法人グローバルウィメンズアソシエーション（GWA）の皆さま、またホームステイを受け入れて下さったMacKay夫妻、AdobeのLily Wenさん、Netflexの真紀さん、サンフランシスコ州立大学のあきほさん等関わって頂いた多くの方に深く感謝いたします。

